

社会福祉法人東京聖新会
ハートフル田無 増山 茂
フローラ田無 尾林 和子

唾液採取による新型コロナウイルス PCR 検査実行報告

新型コロナウイルスが近くに迫っていることをひしひしと感じております。

今月はじめ欧州老年医学会の新型コロナ特別会議が行われました。この春の欧州各国での COVID-19 による死者の多くは高齢者でしたが、うち過半は高齢者施設の中で半ば見捨てられた形で死なせてしまった、と各国の研究者は口々に語っておりました。高齢者の初期症状が見分けにくいという報告も多く、加えて介護施設に対する感染対策設備・装備供給の不徹底、地域を通じた医療と介護の連携の失敗、施設で働く方への感染対策教育・検査の不徹底、などが欧州全体で十万人もの高齢者の超過死亡をもたらしたと総括しておりました。

今冬の再爆発を目の前にしたかれらの危機感も強く感じました。介護の現場で働く方の対策が施設だけではなく地域の感染防止の鍵になるとして、イタリアもフランスでも徹底的な検査体制を組んでいます。英国では高齢者施設で働く方の定期的な PCR 検査が始まっています。日本でも検討が行われていますがもう少し時間がかかりそうです。

当法人では、希望する職員全員に唾液による定期的な新型コロナウイルス PCR 検査を始めております。この結果を定期的を知ることは、当法人がゲストやそのご家族に安心して頂けるサービスを提供し、地域の皆様と安全な協働活動を行い、働く職員同士に信頼を醸成して職場の安全管理を図るため、本格的な流行が予想される今冬には不可欠であると考えております。

今般、職員対象の第一回 SARS-CoV-2 PCR 検査を実施しましたので報告します。

第一回 SARS-CoV-2 PCR 検査

日時： 2020年10月27日(火) 採取キット回収、同10月29日(木) PCR 検査

対象者：検査を希望し同意書を提出した120名の東京聖新会職員（全員無症状）。

検査機関：新型コロナウイルス検査センター

方法：唾液による RT-PCR

結果：新型コロナウイルス SARS-CoV-2 PCR 検査陽性者はゼロでした。

以上ご報告いたします。

（なお、今回の検査ができなかった職員には、11月初旬に補充検査を予定しております）